平和と安心　人にやさしい街を
～ あなたと共につくります ～

福島市復興計画の確実な実施と災害に強い街
市民が安全で安心して暮らせる福祉豊な福島市

県都にふさわしい都市機能の整備を図り産業・経済の発展

教育・文化・スポーツ復興と人間性豊かな文化都市福島市

女性の地位向上、男女共同参画社会の推進

平和憲法を守り基本的人権の擁護

脱原発、再生可能エネルギー社会の実現に向け、推進体制をさらに強化・整備していきます

羽田（はねだ）ふさお　無所属（56歳）

新しい福島市を創る！
元気・やる気・やぶき
○高齢者のために
高齢者の介護医療を「安心」して受ける事が出来、地域でも助け合う町創り
○これからの子供たちのために
子供たちが「安心」して学べる・遊べる・暮らせる町創り

私の略歴
昭和十六年十月二十七日生まれ
福島県福島市大波中学校卒業
矢吹プラザースクリーニング（自営）
東稜薬品工業（株）勤務・東京トヨタ本社勤務

矢吹　ふみこ

初心を忘れず福島のために決断と実行!!

震災からの復興支援活動を通して、本当に困っている人は市役所の窓口までたどり着けないという現状を知りました。私は、市議会議員となり福島に住む皆さんに寄り添い大好きな福島をより住みやすい街に変えていながら、決断力と実行力を活かして、大好きな福島をより魅力的で住みやすい街に今こそ変える強い決意で立候補しました。あなたの清き一票を「斉藤まさおみ」に投じて激戦を勝ち抜く力をお与えください。

『斉藤まさおみ』が実現を目指すこと
【中心市街地活性化】
〈方向性〉全ての人に居場所を。
〈歩行者天国〉集客装置をつくる。
〈路面電車〉交通利便性の見直し。
【少子高齢化対策】
〈子育て支援〉息抜きにも使える一時保育施設。ママの気持ち翻訳ステーション。
〈子育ち支援〉安全な砂場や子ども農園の設置。給食に発酵食品を取り入れる。
〈地域課題の解決〉敷地内からの除染土の早期撤去。多様な買物・見守り支援の提供。

1975年（昭和50年）福島市渡利生まれ。福島第一小学校、福島第一中学校、福島高校を卒業。震災の一年前、栄町にサイトウ洋食店を独立開業。
【推薦者】佐藤一好 福島市議会議長
【後援会会長】藤井高志 ㈱中合福島店 代表取締役社長
【後援会事務所】渡利字七社宮50番地の4号（実家）

斉藤まさおみ　さいとう洋食店オーナー　無所属40才

44歳。ぶれる事なく市議会一筋！実績と実力の四期目へ

「真田ひろしの目指すもの」
1 活力溢れるふるさとふくしま
2 高齢者にやさしい街づくり
3 思いやりのある子育て応援
4 取り組みます 教育問題
5 安心して暮らせる街
6 行政改革の推進

「三期目の役職」■総務常任委員会・委員長 ■市議会真政会会長代行 ■震災原発対策特別委員会分科会長 ■議会改革検討会委員 ■予算特別委員会分科会長
「プロフィール」■昭和46年福島市松浪町に生まれる。■福島第三小学校、福島第二中学校卒業 ■東京経済大学卒業・第三小学校PTA会長・福島市消防団第三分団員

福島市議会議員　**真田（さなだ）ひろし**　無所属　四十四歳

県都から州都へ
みんなが誇れる未来都市福島を創る

1.放射線対策・防災・医療体制がととのった、安心安全なまちを創ります。
2.未来に伝え継げる農業・観光、新しい産業「メディカルバレー」で、経済力の強いまちを創ります。
3.人と人が支えあう、地域コミュニティを守り育てます。
4.民間活力を生かした行政改革を進めます。
5.子供たちの教育に力を入れ、未来を担う人づくりに取りくみます。

さくま行夫プロフィール
●福島市・佐倉生れ。実家は代々続く農家。
●佐倉小学校、西信中学校、県立福島工業高校、山形大学工学部高分子化学科卒業。平成元年、東京より故郷にUターン、農業とまちづくりに取りくむ。
●福島市消防団（21分団）団員・福島県県北相撲協会会長
●福島市議会議員（5期）

さくま行夫（ゆきお）

誠実　信頼　行動

「誠実こそ最も優れた政策」の信念の想いで、これまで歩んでまいりました。多くの皆さまと語らい、そして信頼をいただく。それこそが私の原動力です。「前例がないからやらない」ではなく、「前例がないからやる」という決意のもと、率先して行動してまいります。

たくさんの笑顔がつながり、ひろがり、かがやく。
安心・安全、災害に強い"福島"を目指します！

あわの啓二（けいじ）（63歳）

希望ある復興に向けて
～ ふくしまに笑顔を！ ～

生まれてよかった　住んでよかった　来てよかった

子育て・教育
●子育て支援、医療・福祉の充実
●生きる力を育む教育の実践と環境整備
●文化・スポーツの振興、施設の充実
●生涯学習・生涯スポーツの振興

経済・雇用
●農業振興による風評・風化被害対策
●地域資源を活かした農業・観光の振興
●地場企業の活性化と企業誘致の推進、雇用の創出
●総合交通網の整備促進と広域連携

安全・安心
●放射線による健康被害対策と除染の徹底
●安全で安心なまちづくりの推進
●地域防災体制と自主防災組織の充実
●再生可能エネルギーの推進

私にはやるべき事がたくさんあります！

半沢（はんざわ）まさのり　福島市議会議員（五十三歳）

責任感と行動力で、市民の声にこたえます。

●あらゆる災害を想定した防災対策を充実させ災害に強いまちづくりに努めます。
●子どもと高齢者にやさしいまちづくりに努めます。
●農業後継者を育成し、やりがいのある農業の振興に努めます。
●雇用を増大し、人口減少に歯止めをかけるよう努めます。

略歴／岡山小、福島三中、県立福島工業高校卒業
福島大学経済学部短期大学部卒業
昭和48年福島郵便局入局、平成11年文知摺郵便局長就任、平成22年12月同局退職。福島市議会議員1期

はぎはら太郎　（無所属　60歳）

国・東電にハッキリものを言います
原発ゼロ・徹底した除染
●国・東電の賠償打ち切り許せません。精神的苦痛や風評被害などすべての原発被害へ賠償を

市のためこみ金財政調整基金を約82億円くらし応援に
●国保税引き下げ、介護保険の負担軽減（1世帯1万円引き下げ・約4億円）
●認可保育所を増やして待機児童なくす（保育所1カ所増設・約3億円）

●1957年浪江生まれ、県立会津短大商学科卒。●本間内科医院、沖電気防災（株）に勤務。
●福島市議（2期）。●事務所/福島市蓬莱町四丁目7-29 電話547-2177

ストップ戦争法案

日本共産党　**村山くに子**

ぬくもりのある教育と福祉を

子どもたちにすこやかな未来を！
原発依存から再生可能エネルギーへの転換を！
思いやりの福祉や介護を！

社民党 公認　**さわい和宏（かずひろ）**　57歳

強い発信力で風化、忘却、原発災害再発を阻止
伝えることが目的。15年以上、50誌以上に書いてきた経験。読者５万人の「まぐまぐ！」福島メルマガ＝新メディアを実現。

福島を躍動する文化発信源に！
在米７年、世界各地を行脚してきた視点で、かつてなく生命と真剣に向き合ってきた福島が、世界の最前線だと確信。アート、音楽の力と共に、福島市を、人々を惹きつける文化発信源に。

農協・生協・福島大と、食と農の再生に最前線で尽力
実態把握が大前提。市内すべての田んぼ、果樹園をベクレル測定してきた実績。JA新ふくしまが敷く世界一の検査体制。

地域の活性化に必須とされる「ヨソモノ　ワカモノ　バカモノ」一人で三拍子揃った、福島から未来をつくる、地域振興の起爆剤。

【略歴】1975年、東京文京区生まれ。在米歴7年。青山学院高等部、NYの美大School of Visual Artsを実技首席で卒業。01年帰国以降、フリーランスのライターとして約50の雑誌媒体に寄稿。プロデューサー、通訳等を兼務。2012年、福島市に「土壌スクリーニング・プロジェクト」事務局として赴任。2013年度第33回日本協同組合学会実践賞受賞。地産地消ふくしまネット特任研究員、福島大学FURE客員研究員、ふくしま30年プロジェクト理事を歴任。『福島 未来を切り拓く』（SEEDS出版、2015年）
Facebook:dojo.screening　Twitter:@soilscreening, @syokutakun

福島市議会議員候補無所属、39歳、文筆家　**平井有太（ひらいゆうた）**

公明党　**皆さんの声を市政に届けます！**

安全・安心

「誠実・情熱・全力」をモットーに、一人の人を大切に、現場第一主義で市民の皆様に尽くしてまいります！

防災・減災で災害に強いまちづくり
●高齢者・障がい者の安全で安心な暮らしを守ります。
●雇用の創出で地域経済を元気にします。
●新・再生可能エネルギーで安全な生活環境を守ります。

経歴
■昭和35年9月19日生まれ（54歳）
板橋区立成増ヶ丘小・板橋区立赤塚第二中・都立北豊島工業高校・都立品川高等職業訓練校建築製図科卒業
■昭和55年4月（有）松岡設計入社
■平成11年4月（有）同代表取締役に就任
■平成19年福島市議会議員選挙に初当選／現在2期
【現職】◆経済民生常任委員会 ◆議会運営委員 ◆建築士会支部常任理事 ◆福島市日中友好協会副会長 ◆党福島南支部支部長
●資格／一級建築士・防災士・応急危険度判定士
●趣味／読書・自動二輪

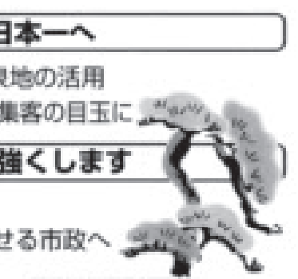
ごとう〈ぜんじ〉善次

市政は市民の最も近い距離にある！

安全、安心、暮らしやすい社会を目指して
・子供たちが安心して通学できる防犯体制をつくります
・放射線対策を強化し市民が安心して暮らせる地域づくりを推進します

文化と農商工業の融合で観光日本一へ
・健康と果物をテーマとした3温泉地の活用
・特色ある工業を産業ツーリズムで集客の目玉に

県都 福島の活性化を行動力で強くします
・予算を使い切る市政から市民の意思を的確に反映させる市政へ



勇気　本気　元気

プロフィール
昭和40年生まれ、野田小、野田中、福島商業高校、日本ビジネス専門学校卒業、日本旅行17年勤務、佐藤剛男衆議院議員秘書、現在福島市議会議員（2期）の傍ら、地元の体育協会会長や交通安全協会理事、消防団員等で地域活動にも従事しています。

大平洋人（おおひらひろと）

公明党　**青年の息吹で復興を加速！**

子どもの未来

「復興加速へ全力！」をモットーに、安心・安全で、子どもが元気な福島市づくりのために働いてまいります。

❶チャイルドファースト社会（子ども最優先の社会）を目指します。
❷若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶えます。
❸市民の生活を守る安全と安心のまちをつくります。
❹雇用創出と地域経済の安定したまちをつくります。
❺中心市街地と福島駅西口地域の活性化をはかります。
❻新・再生可能エネルギーへの取り組みを進めます。

経歴
■昭和41年11月11日生まれ（48歳）福島市立瀬上小・北信中卒業、学法福島高校・創価大学卒業
■平成19年福島市議会議員選挙に初当選／現在2期
【現職】◆総務常任委員会副委員長 ◆三河台地区体育協会顧問 ◆党県青年局次長・党福島西支部長
●家族／妻・長男の3人家族
●好きな人物／周恩来
●好きな言葉／労苦と使命の中にのみ人生の価値は生まれる
●愛読書／レ・ミゼラブル
●趣味／読書・ねこと遊ぶ

丹治〈たんじ〉まこと

定住人口の拡大と充実
市民目線で市政を監視

私の愛唱歌の一つが新相馬節です。（ＴＰＰ反対）東日本大震災前は二番の歌詞「ほろり涙で風呂たく嫁ごよ～なんだこらよっと煙いばかりじゃないらしい、なんだこらよっと」がグッと来て歌いづらかったですが、今、発災後は一番の「はるか彼方は相馬の空かよ、なんだこらよっと相馬恋しや懐かしい、なんだこらよっと」が飯舘、又浪江等から避難される方々の心を思うと涙、又涙の日々です。除染（水路・道路）と風評対策に取り組みを進めて福島市の復興に努力をしてまいります。

民主党公認　67歳　貸家業　**山岸（やまぎし）清（きよし）**

（この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版で印刷したものです。）

福島市議会議員一般選挙

投票日　7月12日(日)

投票時間　午前7時から午後8時まで

今回の選挙において投票できる方は、平成７年７月13日までに出生した日本国民で、平成27年４月４日以前から福島市の住民基本台帳に引き続き登録されている方です。６月18日以降に市内転居した方は、前住所地の投票所で投票することになります。

投票所入場券を紛失したり、届かない場合は投票所で受付に申し出てください。

投票日に投票できない方は、期日前投票をしましょう！

①**期日前投票期間**：７月６日(月)～11日(土)まで

②**期日前投票時間・場所**：
午前８時30分～午後８時　福島市役所　２階
午前９時　　　～午後８時　コラッセふくしま　２階
午前８時30分～午後６時　清水、北信、飯坂、松川、信夫、吾妻の各支所
※　お住まいの地区に関係なく、上記８カ所の期日前投票所のどこでも、期日前投票をすることができます。

③**期日前投票をできる方**：投票日当日に、仕事・入院(予定)・旅行などの用事のある方。

④**そ　の　他**：印鑑は不要です。投票所入場券裏面の「宣誓書(請求書)」欄にご記入の上、お持ちください。

福島市選挙管理委員会　　福島市明るい選挙推進協議会

（この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版で印刷したものです。）

若者・自衛隊員を戦場に送るな！
ストップ戦争法案
●市民が納得するまで徹底した除染を
●原発ゼロ、すべての原発被害へ賠償を

市のためこみ金（財政調整基金）約82億円で
●国保税1世帯1万円引き下げ（約４億円）
●介護保険の負担軽減
●認可保育所（1カ所３億円）増設で待機児ゼロ
●学校給食は自校方式を守る
●飯坂線・シルバーパスは70歳から実施を

土田さとしさんの支持を広げてください　市議会議員 斎藤ともおき

●1961年生まれ、学法福島高等学校卒、●1985年首都出版、●1995年福島市議（４期）。事務所／福島市森合字清水3-2　電話555-6083

日本共産党　**土田さとし**

川又やすひこ（肉屋の三代目）の決意

『川又やすひこ』は地元福島に戻って２０年、実家の肉屋を営みながら、商工会・観光協会の一員として、また小・中学校のＰＴＡ会長として、地元とともに活動してきました。
これらの経験を、震災以降、状況が一変した福島のこれからのために活かし、風評払拭をはじめとした「福島をもっと元気にする活動」を皆さんと共に行ってまいります。

福島を観光・教育・福祉でもっと元気に！！！

観光で元気に！
『くだもの』のブランド力ＵＰ
スポーツ観光の推進

教育で元気に！
外遊び支援で体力向上
学力格差の是正

福祉で元気に！
人材育成の支援
地域でのサポート体制の充実

～プロフィール～
福島市飯坂町生まれ
飯坂小学校卒
大鳥中学校卒
福島県立福島高校卒
東北大学経済学部経営学科卒
㈱リクルート入社
平成８年より㈲川又食肉店

無所属　**川又（かわまた）やすひこ**　昭和40年12月26日生　49歳

チャレンジ!!未来のふくしま

少子化対策・子育て支援の充実
○学童保育の充実、放課後教育の整備促進
○地域型総合スポーツクラブの普及と環境整備

地域経済の持続的な活性化
○地域産業の健全な成長と安定的な雇用
○風評被害の継続的な支援対策

若い世代が希望のもてる社会づくり
○正規雇用拡大と非正規雇用の待遇改善
○安心して結婚、子育てできる環境づくり

安全・安心な街づくり
○除染の徹底と汚染土壌の早期搬出
○高齢化の進む地域の見守りシステム

【略歴】
・1955年福島市生まれ
・福島市立第一小学校卒
・福島市立第一中学校卒
・福島県立福島工業高校卒
・福島大学経済短期大学部卒
・株式会社 岸波プロップス
・陽光社印刷株式会社退社

【経歴】
・前渡利希望ヶ丘町会 会長
・前渡利地区町会連合会幹事
・福島市青少年健全育成推進委員
・元福島市南向台小PTA副会長
・元福島南高校PTA本部役員
・福島高校PTA副会長

子どもが笑顔で元気に遊び、若い世代が希望をもって働き、高齢者も安心して暮らせる元気な福島市を目指します。

成功の反対は失敗じゃない、チャレンジしないこと。

岸波（きしなみ）きよたか　無所属

木口ひでのり　福島市のための6つのビジョン

❶徹底的な除染の継続を求める
❷子供たちの健康サポート
❸教育の向上
❹中心市街地の活性化
❺高齢者やその家族が安心して暮らせる福祉サービスの充実
❻育児や子育て支援策の充実

木口ひでのりプロフィール
昭和43年福島市生まれ。福島県立福島高校を卒業後、早稲田大学社会科学部に入学。高校時代は剣道に明け暮れるほか、大学時代には早稲田カバディクラブにて全日本選手権3位。大手不動産会社入社後、不動産系ファンドに転職し、商業オフィスビルなどの仲介営業やマーケットレポートなどを担当する。平成26年、福島の現状を知り、福島に恩返しをすることを決意し、退職。

無所属　47歳　**木口ひでのり**

安心して暮らせる福島市を創ろう。
①復興の推進と特徴を活かした町づくりを推進します。
②安心して暮らせる町づくりを推進します。
③農林業の活性化を図ります。
④地球環境に配慮した新エネルギー、省エネルギーを推進します。
⑤教育の充実を図ります。

石原洋三郎

福島を放射能から守る
子供たちが住みやすい福島をつくる
高齢者が住みやすい福島をつくる
みんなが住みやすい福島をつくる
安心・安全なまち福島をつくる

現職
蓬莱町三丁目町会長
蓬莱地区社会福祉協議会理事
蓬莱地区町会長連合会監事
蓬莱地区青少年健全育成推進会監事

経歴
蓬莱中学校PTA会長
蓬莱地区少年会育成会連絡協議会会長

学歴
県立福島高校卒
山形大学理学部卒

〒960−8157　福島市蓬莱町三丁目8−23
TEL　548−2784

紺野（こんの）たかし

ディズニー・USJに次ぐ、入場者数全国３位の施設をご存知ですか？

答えは、刈谷ハイウェイオアシスです。多くの皆様は、他の有名レジャー施設を想像したことと思います。私もそうでした。アイディア満載のこの施設、実は一般道からも入ることができる、パーキングエリアなのです。
震災後、福島は大きな岐路に立たされています。
福島を発展させるには、この様な皆様の"アイディア"が必要なのです。私達市民の"声"を政治に反映させ、福島に"活力"を取り戻すため、政策の３本柱を皆様のご意見・ご要望を積極的に伺いながら、推進してまいります。
福島の明るい未来のために、一生懸命全力で活動してまいる所存です。

政策の3本柱
子育て・教育の充実
安心・便利な街づくり
地域経済の活性化

根本雅昭プロフィール
昭和55年 警察官の子として生まれ、杉妻小→福島一中→清陵情報高校→会津大学→会津大学大学院
会津大学修学支援専門員（事業総括）や参議院議員岩城光英秘書等を経て、現在、
・NPO法人日本コンピュータ振興協会理事長
・ミヤビテクノロジー代表
・福島県青少年育成県民会議大人への応援講座講師
・LLP情報化支援機構会長

ウェブサイト http://nemoto.miyatech.net/
趣味　スキー、ツーリング、アマチュア無線等
資格　応用情報技術者、一級小型船舶操縦士、
試験　国内A級ライセンス、教員免許等

根本雅昭（ねもとまさあき）　35歳　無所属

公明党　**生活者の目線で即行動！**

生命（いのち）と暮らしを守る

人の絆を大切にする女性の視点で、復興の加速と地方創生に全力で取り組んでまいります！

❶暮らしを元気に！
❷地域を元気に！
❸人を元気に！
❹地方自治を元気に！

これまでの主な実績Top3
①「ももりんシルバーパスポート事業」を推進
②「ふれあい訪問収集事業」を拡充
③期日前投票時の宣誓書を入場券に印刷し、利便性の向上を推進

経歴
■昭和31年3月25日生まれ（59歳）
■国見町立藤田小・県北中卒業、福島成蹊女子高等学校（現・私立成蹊高等学校）卒業／福島女子短期大学卒業（現・福島学院大学短大部保育科）卒業
■昭和51年4月／鎌田保育園に就職（S.58.3退職）
■平成15年4月／福島市議選に初当選／現在3期
【現職】◆公明党福島市議団幹事長 ◆党県女性局次長 ◆党福島北支部長 ◆元文教福祉常任委員長 ◆建設水道常任委員長 ◆東日本大震災復旧復興対策並びに原子力発電所事故対策調査特別委員会委員長
●家族／夫・実母の3人家族
●好きな言葉／誠実・感謝
●趣味／合唱・書道・音楽鑑賞

おの京子（きょうこ）

子どもからお年寄りまで誰もが安全・安心して暮らせるまちづくりを目指します。大きなご支援をよろしくお願いします。

わたしの提案
❶放射能物質の完全除染により、子どもたちが不安なく笑顔で暮らせるまちをつくります。
❷放射能汚染土の中間貯蔵施設への早期搬入の実現に向けて、国や県に強く要望していきます。
❸東京電力に放射能災害の追加賠償を求めていきます。
❹老朽公共施設（三河台、渡利、杉妻、中央）等の早期改修を推進していきます。
❺子どもたちの悩みや不安に対応できる教育環境づくりにより、いじめ、不登校、非行問題対策の充実を図っていきます。
❻福島市は未だ復興の道半ばですが、住環境の整備、教育、医療などの充実を図り、住んで良かった福島市を目指します。
❼自治会、町会への支援を拡充し、地域コミュニティーの在り方を提言してまいります。地域住民と自治会、町会等が抱える課題を模索し、自治会（町会）の活性化に取り組みます。
❽原子力エネルギーに頼らない未来を築くため、再生可能エネルギーの推進に取り組み、原発ゼロ社会をアピールしていきます。

〒960-8141　福島市渡利字岩崎町95-2

菅野よしひろ　無所属　47歳

個性的で豊かな地域社会の創造

街がかがやく地方の時代へ

めざします　保健・医療・介護・福祉の連携
ささえます　自治体の底力
そだてます　地域に根ざした教育と文化
すすめます　災害に強い地域づくり

無所属　60歳　**たかぎ克尚（かつひさ）**

医療・福祉の充実　安全な街づくり

◎これまでも、これからも脱原発社会の実現をめざします。
◎市民が安心して暮らせる医療と福祉のまちづくりをめざします。
◎子どもからお年寄りまで、健康で文化的な生活のできる市政をめざします。
◎豊かな自然を守り、食とみどり・水が大切にされる市政をめざします。
◎若者の雇用を拡大し、未来に希望をもてるまちづくりをすすめます。
◎男女共同参画社会を支える子育て支援のまちづくりをすすめます。
◎平和憲法を暮らしにいかした市政をめざします。

社会民主党　公認　**梅津　かずまさ**（三十九歳）

希望ある復興と明るい福島の創造！
一期目（ホップ）の経験で、さらに（ステップ）市民みなさんの声を市政に届けます。

ふくしまに誇りをもって暮らせるまちづくり
○温泉を活用し、心身ともに健やかに暮らせる
○安心して子どもを産み育てる
○障がい者や高齢者を、地域全体で支援する環境づくり

元気で魅力いっぱいの福島市へ
○安全・安心な農産物の生産と消費拡大
○農業・商業・観光の連携で、地域の元気と魅力向上

自然豊かな美しいまちを目指します
○人と自然が共生する、再生可能エネルギーによる循環型社会

白川（しらかわ）としあき　市議会議員　無所属（５９歳）

復興から発展へ　元気いっぱい、笑顔いっぱいの福島

「ときめきとやすらぎ希望にみちた人間尊重のまち」を目指して

市民の更なる安全確保に努めるとともに、市民生活の早期復興と産業振興の諸施策をスピードをもって推し進めることこそが「安全・安心」そして「活力」を生み出すものと考えます。私は「福島市の輝くみらい創造」の為に、皆様とともに立ち上がり、考え、そして行動して参ります。

その1　復興、発展へ確実な推進
その2　安心して子育てができ、高齢者、障がい者が安心して暮らせるやさしいふくしま
その3　産業の振興をはかり元気で豊かなふくしま
その4　環境にやさしい美しいふくしま
その5　教育都市、スポーツ都市ふくしま

経歴
■生年月日　昭和31年4月4日　福島市飯野町生まれ
■学歴　昭和55年4月　早稲田大学社会科学部卒業
■経歴　平成15年4月　旧飯野町議会議員（2期）
平成20年8月　福島市議会議員（1期目）
平成23年7月　福島市議会議員（2期目）
福島市議会真政会幹事長
経済民生常任委員
議員政治倫理策定特別委員長
川俣方部衛生処理組合議会議員
■飯野町観光協会会長
■福島市飯野中学校同窓会会長
■飯野町大久保保全協議会会長
■JA新ふくしま経営管理委員
■飯野ライオンズクラブ会長

59才　**黒沢仁（じん）**

豊かな都市と農村の共生を目指して！

たけしの 八つのお約束

県都福島市の美しい自然と環境との調和を守り、都市と農村の共生を推進し、心豊かな福祉社会の実現を図ります。

1. 大震災・原発事故からの完全復興復旧
2. 力強い農業と商工観光業の振興
3. 将来に向け、安心して生活できる健全な行財政
4. 子育て支援や心配のない高齢者施策の推進
5. きめ細やかな障がい者福祉の充実
6. 住みよい生活環境づくりと雇用の創出
7. 福島南部地区の地域力再生と活性化
8. 伝統文化の継承と教育の充実

Vision Venture Victory Three!

奉仕の心・前向きの心で、地道に働くことを大切にし、小さな幸せも最高と感謝できる社会を目指します！

新しい光と風の創造へ

尾形（おがた）たけし　六四歳

（この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版で印刷したものです。）

戦争法案ストップ
祖父が戦争で犠牲に。「二度と戦争をおこしてはいけない」「憲法9条を守る」が佐々木ゆうの決意。

農業を守る
JA新ふくしまに23年勤務した佐々木ゆう。農家の苦労がわかる人。TPP撤退、米価暴落対策の強化、原発被害の全面賠償を。

待機児ゼロ　原発ゼロ
41歳・佐々木ゆう。認可保育所待機児童530人。市のためこみ金82億円で保育所（1カ所3億円）増設。放射能不安なくし、原発ゼロ。

お知り合いに支持を広げてください
産直センターふくしま代表理事 阿部哲也　全農協労連元副委員長 玉根孝子　父・農民連元会長 佐々木健三

●1973年福島市生まれ、県立北高校卒。●JA新ふくしまに勤務。●全農協労連女性部事務局次長。●事務所／福島市佐原字入佐原50-1 電話594-1512

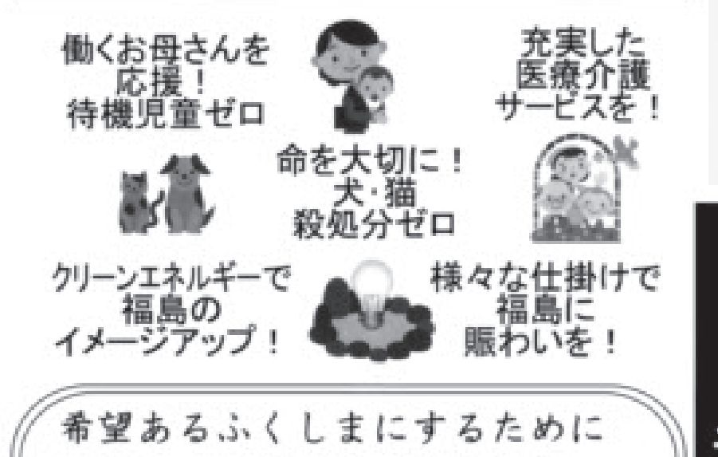
日本共産党　**佐々木ゆう**

復興・再生
"元気なふくしま"つくります

❶地域　地域が元気で活力あふれるまちをつくります
❷産業振興　商工農林業の振興により産業を元気にします
❸医療・福祉・子育て　医療福祉の充実と子育て環境を整備します
❹教育・文化　教育・文化の振興であかるく元気なこどもを育てます
❺環境　再生可能エネルギーを活用し循環型社会を構築します
❻生活基盤　安全安心の確保に向けた生活基盤の整備を図ります

かすやよしのり　無所属

女性の力で魅力あるまちづくり



働くお母さんを応援！待機児童ゼロ
充実した医療介護サービスを！
命を大切に！犬・猫殺処分ゼロ
クリーンエネルギーで福島のイメージアップ！
様々な仕掛けで福島に賑わいを！

希望あるふくしまにするために
安心して生活が送れるように
しがらみのない市政を！
市民の声を活かして
子供たちの未来へ

佐久間（さくま）きみこ

未来を開く地域づくり

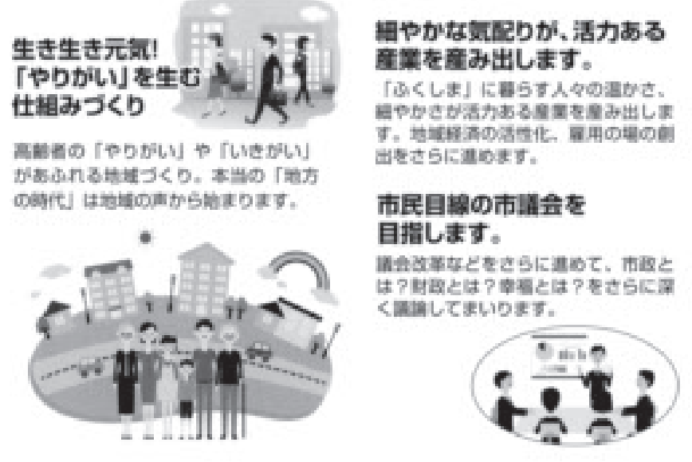
「街づくりは、人づくりから」夢を託せる地域づくり
安全で安心な子育ての環境整備が重要です。未来をになう子どもや若者たちが夢を託せる地域づくりをさらに進めます。

生き生き元気！「やりがい」を生む仕組みづくり
高齢者の「やりがい」や「いきがい」があふれる地域づくり。本当の「地方の時代」は地域の声から始まります。

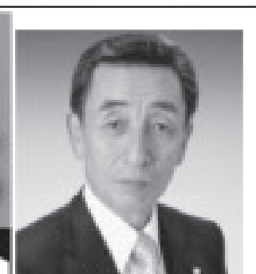
農業を活かして、地域の発信力を高めます。
農業に欠かせないのは地域の特性を最大限に活用することです。内外を結ぶ新たな仕組みの中で、地域からの発信力をさらに高めます。

細やかな気配りが、活力ある産業を産み出します。
「ふくしま」に暮らす人々の温かさ、細やかさが活力ある産業を産み出します。地域経済の活性化、雇用の場の創出をさらに進めます。

市民目線の市議会を目指します。
議会改革などをさらに進めて、市政とは？財政とは？幸福とは？をさらに深く議論してまいります。



昭和二十六年三月六日生まれ　満六十四歳　**ししど一照（かずてる）**



経験を活かし臨機応変な対応
地域に根ざして一生懸命！

1 震災・原発事故からの早期復旧復興
2 行財政改革の推進
3 農業の振興と商工観光業の振興
4 安全・安心で便利で楽しいまちづくりの推進
5 福祉の向上と充実
6 教育の充実と環境整備

主な経歴
福島市議会副議長・市議会「真政会」会長・議会選出農業委員・仙台、福島、山形市議会広域観光連携推進協議会会長・松川小学校PTA会長・松陵中学校PTA会長・保護委員会（高校）松川地区会長・松川体協副支部長・松川中央剣友会指導者（剣道3段）

現在の活動
福島市青少年健全育成推進会議会長・松川町観光協会長・福島市社会福祉協議会評議員・松川地区青少年健全育成推進会会長・同連絡会長・学校法人さくら幼稚園理事・松川小学校評議員・松陵中学校評議員・保護司推薦委員・総務常任委員・市議会「真政会」顧問・自民党福島市総支部幹事長

渡辺（わたなべ）としひこ　60歳　昭和29年10月23日生

（略歴）瀬上小学校、北信中学校、福島北高等学校出身
福島県ＰＴＡ連合会長、福島市小中学校ＰＴＡ連合会長、青少年健全育成推進会副会長、瀬上小・北信中ＰＴＡ会長を歴任。現在は福島市法人保育所会長、松葉福祉会理事長
福島東保育園長、保護司を奉職。
福島市議会議員二期　建設水道常任委員会副委員長

（基本政策）～ここで生きる人たちと共に～
教育と福祉の充実を！　にぎわいのある福島に！
○教育・福祉を充実させ、学び合い助け合いをひろげます。
○地域の伝統・文化を守り、明るいまちづくりを進めます。
○子育てし易いまちへ、出生率日本一を目指します。
○災害に強い「ふるさと福島」へ、放射能汚染からの早期復旧と大震災からの復興に全力で取り組みます。
○観光連携で足腰の強い農業を創造、整備を支援します。
○県北の母都市として機能強化と産業の振興に努めます。

小松（こまつ）良行（よしゆき）　昭和三十七年四月六日生（五十三歳）

公明党　**市民に勇気と希望を！**

暮らしを守る

「誠心誠意」をモットーに、元気な福島市づくりと早期復興のために、全力で働いてまいります。

❶ 市民の生活を守る安全と安心のまちをつくります。
❷ 雇用創出と地域経済の安定したまちをつくります。
❸ 安心して子どもを産み育てられるまちをつくります。
❹ 人と人が支えあい、一人を大切にするまちをつくります。
❺ 豊かな人間性をはぐくむ、活力のあるまちをつくります。
❻ 新・再生可能エネルギーへの取り組みで安全な生活環境のまちをつくります。

経歴
■昭和28年4月17日生まれ（62歳）福島市立第一小・第一中・県立福島商業高等学校・福島大学経済短期大学部卒業
■平成11年福島市議会議員選挙に初当選／現在4期
【現職】◆文教福祉常任委員会委員 ◆議員政治倫理条例策定特別委員会委員 ◆党両副幹事長
●家族／妻・長男の3人家族
●尊敬する人物／周恩来・マハトマガンジー・勝海舟
●好きな言葉／艱難汝を玉にす
●愛読書／氷川清話
●趣味／読書・音楽鑑賞・ウォーキング

すがい昌弘

夢があふれる福島市
住んでよかった安全・安心な福島市

多くの人にお会いし心をこめて話し合いよく考え目指します

鈴木まさみプロフィール
昭和32年生まれ。58歳。
【学歴】福島市立中野小学校卒業、福島市立大鳥中学校卒業、福島県立福島高校卒業、国立千葉大学人文学部卒業
【職歴】福島民報社（仙台支社長、総務局次長、編集局次長）

鈴木（すずき）まさみ

未来をひらく確かなまちづくり

（昭和42年4月12日生まれ）

みなさんの御用聞きとしてお役に立ちます。

マルト一平　代表取締役　**阿部とおる**

情熱そして感動新たなる福島市へ
【うめつ　まさのり】
まごころこめて
さわやかに
のびゆく福島のために
りそう実現に向け汗を流します！！

皆さまのご意見をしっかりと伺い、誇れる"福島"を創っていきます

無所属　**うめつ政則（まさのり）**（四十八歳）

■三つのお約束■

1.高齢者を大切にする福島市にします。
必要な方が必要な時に必要な福祉・医療サービスが受けられる安心できる環境を整えます。
子どもたち、若者、高齢者がふれあえる社会の仕組みづくりを実現します。

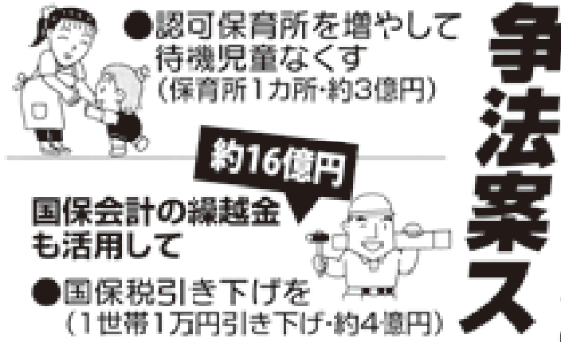
2.子育て日本一の福島市にします。
医療費の無料化（18 歳まで）を継続し、お母さんお父さんが安心して働くことができるよう待機児童ゼロを目指すとともに学童保育所を増設します。

3.生活相談所「たせ誠司（せいじ）」として活動します。
皆様が抱えるいろいろな悩みや相談ごとの窓口としてお役に立てるよう365日活動します。

◆略歴◆
・松陵中～県立福島高校～同志社大学～早稲田大学大学院
・社会福祉法人とやの福祉会　理事長

無所属　**たせ誠司（せいじ）**　・昭和38年11月8日生まれ

福島駅西口コンベンションホールより約220億円
●認可保育所を増やして待機児童なくす（保育所1カ所・約3億円）



約16億円　国保会計の繰越金も活用して
●国保税引き下げを（1世帯1万円引き下げ・約4億円）

精神的苦痛や風評被害などすべての原発被害へ賠償を

徹底した除染・原発ゼロ　戦争法案ストップ

応援します
わたり病院院長　遠藤　剛
市議会議員　佐藤まち子
県議会議員　宮本しづえ

●1956年生まれ、国立仙台病院附属リハ学院・理学療法科卒、●医療生協わたり病院で勤務。●事務所/福島市渡利字岩崎町24−1 電話523-1785

日本共産党　**おぐま省三**

決意表明
地元福島への郷土愛と、27年間に及ぶ情報誌づくりの情熱と、この４年間の議員経験を活かし、ふるさと福島の輝きを増すため、皆様の清き一票で、これから２期目の４年間、ますます働いてまいります！
一、子どもたちに明るい未来を！
一、青年に将来希望の持てる雇用の場を！
一、働き盛りに安定した生活を！
一、お年寄りに安心できる暮らしを！

現場主義で地域を変えます

http://nikaidou.net

元タウン情報誌編集局長　無所属　**二階堂（にかいどう）たけふみ**

～ 今こそ大事、未来はもっと大事です ～
☆市民の皆様のお声を、必ず市政に届けます。
☆活気ある美しいふるさと、福島市をめざします。
☆いかなる災害にも対応できる危機管理に努めます。
☆全市民の健康管理の充実を図ります。
☆決してぶれず、愚直に市政発展に取り組みます。

明るく元気なふるさとづくり

● 菅野てるみプロフィール ●
（自宅：福島市上野寺字和田15番地）
・昭和30年12月23日生まれ
・野田小・野田中、福島高校、千葉大学園芸学部卒業
以後農業（果樹）に従事
JA福島市野田　組合長
JA新ふくしま　常務理事　専務理事
・平成23年7月～　福島市議会議員
みらい福島政調会長

菅野（かんの）てるみ　59歳

ふくしまを前へ！若い力と行動力

うごけばわかる！
うごけばかわる！

活力と魅力あふれる福島づくり
●食の安全・環境保全
●福島の元気発信・風評被害の払拭
●教育・福祉・医療の充実
●農業改革・商業・工業の振興
●観光による交流人口の拡大と活性化
●企業誘致による雇用確保促進
●生活基盤整備促進

ほんだ憲孝（のりたか）

（この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版で印刷したものです。）